

特集

暴力行為等の根絶に向けた取り組みを行うクラブ



一般財団法人 北栄スポーツクラブ

＜鳥取県東伯郡北栄町＞



総合型クラブが、地域スポーツ文化の豊かな享受の場として充実・発展していくためには、スポーツ指導の現場において、暴力の根絶に対する共通認識を一層高めるとともに、暴力、ハラスメントおよび指導者の権力に基づく精神的な追い込みなどの行き過ぎた指導が行われていないかを改めて見直し、暴力行為等を未然に防ぐことが不可欠です。

そこで今回は、暴力行為等の根絶に向けた取り組みを行うクラブをご紹介します。

1 クラブ概要

北栄町のスポーツ団体を一括管理

北栄スポーツクラブはスポーツ少年団、体育協会、一般クラブ等北栄町におけるスポーツ団体を一括管理する総合型地域スポーツクラブです。また町内社会体育施設を指定管理している強みを生かして、より地域に根差したクラブとなっています。会員数は約1,200人。一般が33クラブ、小学生向けが21クラブ、中学生向けが9クラブあり、子どもから高齢者までスポーツを楽しんでいます。

多世代を対象に各教室を運営

当クラブが主催している教室はシニア世代向けの『健康運動教室』（高齢者向け教室/週1～3）、働く世代向けの『バランスボール＆フィットネス教室』（隔週）、『ヨガ教室』（週1）を通年開催。単発でジュニア世代向けの『水泳教室』、『ランニング教室』、『スキー教室』、『北栄BG塾』（夏休みの勉強・運動・創作活動教室）などを行っています。

特に健康運動教室は3クラスあり、計150名が参加しています。この教室は健康寿命の伸長を目的としています。バランスボールを使った運動機能の向上のエクササイズはシニア世代に人気があります。

2

暴力根絶に向け研修会を継続開催

昔ながらの暴力(言葉の暴力を含む)に頼った指導は子どもたちを不幸にするだけではなく、スポーツ離れを助長してしまうという危機感がありました。自分自身には、トップアスリートは子どもの頃から練習漬けの厳しいトレーニングを積んできて、楽しんでいる時間はないという先入観がありました。しかし、研修会で講師を依頼したトップアスリートの方々は「成長期のスポーツで一番大事なことは、その競技を楽しむこと」だと異口同音に話されました。また、オリンピックなどトップの選手やプロの指導者はジュニア世代に対してスポーツを楽しむ、楽しませる指導をしています。輝かしい実績と経験のある方々が楽しむことを大切にされていることに驚きました。高度な指導をすることが大切なのではなく、良い意味でゆとりを持った指導をすることが大切だと分かりました。

そういった指導方針を本クラブでも推進していくために、平成26年から『北栄スポーツクラブ研修会』、平成30年からは『ジュニア指導者研修会』を継続して開催しています。

【クラブが目指す指導方法】

- 子どものうちは特定の競技に偏ることがないように指導して、将来、他の競技もできるようなオプションを残す。
- (暴力・暴言・勝利至上主義による)バーンアウトを防ぎつつ、将来(中高校～)に向けた基礎づくりを行う。
- 子どもの頃からスポーツを楽しみ、生涯にわたりスポーツに親しみを持てる大人に育ててほしい。

オリンピックを講師に招く研修会を実施

『北栄スポーツクラブ研修会』

オリンピックを招き、子どもたちが夢をつかめるための指導や心構えを学びました。出席者はジュニアクラブ指導者、ジュニアクラブ員、その他指導者、地域住民の方々です。



オリンピックを講師に招いたスポーツクラブ研修会

【講師】

平成26年 テーマ:夢をつかめ
講師:山口 香(柔道)
内容:柔道から学んだこと

平成28年 テーマ:夢をつかめ
講師:三屋 裕子(バレーボール)
内容:バレーボールから学んだこと

平成27年 テーマ:夢をつかめ
講師:村上 幸史(陸上)
内容:世界の舞台で感じたこと

平成30年 テーマ:夢をつかめ
講師:岩崎 恭子(水泳)
内容:幸せはいつも自分でつかむ

【特に印象に残っているエピソード】

● 平成28年研修会

元々運動が得意ではなく身長が高いことがコンプレックスだった。中学生になりバレーボールの顧問の先生に出会い、それまでコンプレックスでしかなかった身長が強みに変わった。人間考え次第でいくらでも変わることができる。

● 平成30年研修会

14歳で出場したバルセロナオリンピックは金メダルを獲得できたが、その後期待を背負い、泳ぐこと自体が楽しくなくなってしまう。4年後に出場したアトランタオリンピックではメダルを獲得できなかったが人間として成長できた。どうしても金メダルを取ったバルセロナオリンピックが注目されるが、アトランタオリンピック出場までの苦勞を乗り越えたからこそ、今の幸せがある。

『ジュニア指導者研修会』

プロの指導者を招き(平成30年～令和2年)、アンガーマネジメント、子どもを楽しませる指導法、コーディネーショントレーニングなどを学びました。この研修は毎年継続開催することで先進的な指導方法を学びながら、暴力根絶を推進しています。



先進的な指導方法を学ぶジュニア指導者研修会

平成30年と令和元年

講師：北栄町出身の読売ジャイアンツアスレチックトレーナー

対象：ジュニアクラブ指導者とジュニアクラブ員

令和2年

講師：鳥取県在住元プロ野球アスレチックコーチ &
鳥取県在住パーソナルトレーナー

対象：ジュニアクラブ指導者

この研修会で感じたことですが、感情のコントロールについて「個人によって価値観が違うため、一方的な考えを押し付ける指導法では生産性の低い集団になってしまう。お互いの価値観を尊重し寛容な気持ちで指導すれば自ずと良い結果に結びつく」というお話は、全くその通りだと思いました。

また、子どもにとって楽しい時間を長くすることが、結果として暴力行為から遠ざけることになると思います。

3 「楽しい時間」の創設が有効

【ジュニア指導者研修会に参加した指導者の感想】

- 「競技力を高めることより、楽しい時間を過ごすことの方が、子どものバーンアウトを防ぎ有効だということが再確認できた」(アンガーマネジメント)
- 「感情をコントロールすることが暴力根絶に繋がる。そのために叱る場面で怒った状態で即座に子どもにぶつけるのではなく、数秒間冷静になる間において冷静に指導することが大切だと学んだ。」(アンガーマネジメント)
- 「子どもの自主性に任せて活動させることも時には必要だと感じた。子どもは楽しければ自分たちでアレンジして更に楽しんで練習をする。そういった練習を見守ることも時には必要と感じた」(コーディネーショントレーニング)
- 「特定の競技に偏らない練習が重要だと思った」(コーディネーショントレーニング)

研修会開催で指導者に意識変化→複数種目への加入が増加

以前は一つのクラブしか加入していない子が大多数でしたが、複数種目に加入する子が増えました。研修会を毎年開催することで、クラブが目指す「特定のクラブで子どもを囲い込むのではなく、将来子どものためになるようにシェアする」という考えが指導者に広まりつつあります。

ただ、個人種目に比べて、団体種目はどうしても複数クラブ加入が進みません。年間を通して大会や試合があり、団体登録をするため、個人種目に比べてハードルが高いと感じます。また、全クラブの指導者が研修会に参加しているわけではないため、まだまだ十分ではありません。研修会開催頻度を増やせば良いのですが、予算的なこともあり、増やすことは困難です。

そこで昨年度から日本スポーツ協会が推進するACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)を取り入れ、遊ばせながら運動能力を高める事業を展開。スポーツ少年団指導者だけではなく学童保育指導員、学校教員にも参加してもらい、子どもたちの健やかな成長をサポートしています。

4 中学校部活動の地域移行の受け皿に

令和5年より中学校の部活動が地域に移行します。地域移行に際して当クラブが受け皿になることが予想されます。現状当クラブに所属している中学生クラブやその他のクラブに大きな期待が寄せられています。

学校・地域指導者と協議し問題解決を図る

一方、本町の中学校には入りたい部活動が無い、部はあるが人数不足でチームが組めない、チーム競技の部活動とクラブの二重登録問題—など様々な問題を抱えています。

こういった課題を学校、地域の指導者と協議して、持続可能で魅力的な部活動(クラブ)を一つでも増やしていきたいと思います。

スポーツで住民に笑顔を

クラブハウスを構える北栄町B&G海洋センターが令和3年度に防災倉庫(重機、救助ボート、トラックなど)を設置する防災拠点に指定されました。また令和4年度から木質バイオマスボイラーが稼働し、災害などの停電時でもエネルギーを使える施設になります。平時はスポーツで住民に笑顔を届け、非常時には住民をやさしく迎え入れる施設にアップデートします。

(一般社団法人北栄スポーツクラブ スポーツインストラクター 山根 雄一)



週3回約150人が登録する健康運動教室



スポーツ、勉強、創作活動を行う夏休みの北栄BG塾

クラブ プロフィール

設立年月日 平成6年3月25日（平成6年3月25日法人登記）

所在地 鳥取県東伯郡北栄町田井428-1

運 営 会員数1,183名（令和3年12月現在）、予算規模4,600万円（令和2年度）

特 徴

- ・スポーツ・健康・まちづくりをスローガンに地域住民に親しまれるクラブ運営を心掛けています。
- ・子どもからシニア世代まで体を動かせる場を提供しています。
- ・ジュニア世代には様々な教室を用意しています。生涯にわたりスポーツを楽しんでもらいたいです。
- ・地域の方に最大限施設を利用してもらうために、「当日受付OK」でバドミントンコート／1コートから貸し出しを行っています。

連絡先 〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井428-1

TEL 0858-36-4331 FAX 0858-36-4977

URL www.hokuei-sports.or.jp

E-Mail yamane-y@mail5.torichu.ne.jp